

スウェーデン発の自動顕微鏡+血液細胞分類装置

「セラビジョン DM9600」

企業紹介

CellaVisionAB はスカンジナ半島の南端、ルンドに本社をもつスウェーデン企業です。ルンドは 340 年前に設立されたルンド大学のある学園都市で、多くの IT 企業が起業していることから北欧のシリコンバレーと呼ばれています。

1990 年代ヨーロッパでは優秀な血液像分類技術を持った熟練検査技師の高齢化や退職により、目視分類による目と身体の負担軽減と業務効率向上に繋がる高性能な自動血液像分類装置の必要性が高まってきました。1994 年に設立された CellaVision AB は研究開発を重ね、2001 年に DM シリーズのプロトタイプを発売しました。2003 年には DM 9 6 を発売。2012 年に DM1200、2014 年に DM9600 を発売。世界に 1800 台以上の DM シリーズが稼働しています。

セラビジョン ジャパン株式会社は、カナダ、アメリカに続き世界で 3 つ目の子会社として、2008 年 3 月に東京六本木のスウェーデン大使館内に設立されました。同年 5 月には横浜みなとみらいのランドマークタワーに移転、7 月にはショールームを立ち上げました。2009 年 6 月より販売を開始、日本では 40 台が納入されています。

製品紹介

「セラビジョン DM9600」は精巧なデジタルイメージ解析技術と最先端の人工知能技術を組み合わせた血液細胞分類機能付き自動顕微鏡装置です。300 以上の特徴を細胞から抽出解析することで、従来のパターン分類技術ではなしえなかった芽球や幼若細胞を含めた 12 種類の白血球細胞と 6 種類の非白血球細胞に分類します。分類された細胞は細胞グループ毎に比較確認ができることが、従来の顕微鏡にない大きな特長です。同時に赤血球を 21 種類の特性についても自動解析、%と絶対数の解析結果に加え対象細胞を並べて表示することも可能です。

DM9600 にネットワーク連結した端末からも一枚の塗抹標本を同時にレビューすることができます。難しい細胞の判定を遠隔地にいる熟練検査技師や血液専門医に仰ぐことが可能です。

DM 9 6 0 0 の細胞画像を用いた e-ラーニング細胞鑑別教育ソフトウェア (Web-Pro) では検査技師の血液細胞分類技術を向上することができます。広域に分散する複数の対象者を一元教育、移動コストを削減します。トレーニングを標準化し、熟達度のレベルチェックが可能です。

連絡先

セラビジョン ジャパン株式会社

〒220-8120 横浜市西区みなとみらい 2-2-1 横浜ランドマークタワー 20 階

TEL: 045-670-7110 FAX: 045-670-7001

<http://www.cellavision.com>

*ホームページの日本国旗をクリックすると日本語に変わります。